



平成17年 4月27日

各 位

会社名 豊和工業株式会社  
代表者名 取締役社長 野崎東太郎  
(コード番号 6203 東証・名証 第1部)  
問合せ先 取締役総務部門長 坂野和秀  
(TEL. 052 - 408 - 1001)

## 平成17年3月期 通期業績予想の修正 および特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年11月17日の中間決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正し、併せて特別損失の発生についてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 17年3月期の業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	27,000	540	490
今回修正予想(B)	27,400	420	250
増減額(B-A)	400	120	240
増減率(%)	1.5	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	31,381	134	269

(金額の単位:百万円)

#### 2. 17年3月期の連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	31,500	510	430
今回修正予想(B)	32,200	240	70
増減額(B-A)	700	270	360
増減率(%)	2.2	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	35,636	303	352

(金額の単位:百万円)

#### 3. 修正の理由

(単独)

売上高は前回予想をやや上回り、経常利益は経費削減効果などにより前回予想より改善される見込みです。当期純利益については、環境安全対策引当金繰入額約1億1千万円、リコール費用約5千万円をそれぞれ特別損失に計上しますが、特別利益として投資有価証券売却益約2億9千万円を下期において計上(通期では約5億円)するため、上記のとおりとなる見込みです。

(連結)

単独の修正理由のほか、各連結子会社の営業利益が計画値をそれぞれ上回り、特別損失としてゴルフ会員権評価損約3千万円が発生しましたが、経常利益、当期純利益とも、上記のとおり前回予想より改善される見込みです。

#### 4．環境安全対策引当金繰入額について

「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により、当社が現在保管している同廃棄物を平成 28 年までに処理することが義務付けられておりますが、同廃棄物の処理機関である日本環境安全事業株式会社（JESCO）の豊田事業所が平成 17 年 9 月より操業を開始する予定となり、当社も平成 18 年 4 月以降順次処理する見込みとなったため、その処理費用見積額約 1 億 1 千万円について環境安全対策引当金を設定し、同繰入額を平成 17 年 3 月期において特別損失として計上するものです。

#### 5．リコール費用について

内容については平成 17 年 2 月 1 日にお知らせしましたとおりですが、平成 18 年 3 月期に発生する見込額についても、平成 17 年 3 月期において特別損失として計上いたします。

#### 6．ゴルフ会員権評価損について

連結子会社が保有するゴルフ会員権について金融商品に係る会計基準に基づき、平成 17 年 3 月期末において減損処理を行なったものです。

以 上